

第3類

文学部（通信教育課程）第3類では文学を主とした専攻領域を扱っており、所定の条件を満たした際には、「学士（文学）」の学位が授与されます。学生は、自らが希望する卒業論文のテーマを検討し、そのテーマに関係する専攻領域で求められることを踏まえ学修を進めるとともに、指導教員の指導のもとでテーマを掘り下げて卒業論文の執筆を進めていきます。

第3類で授与される学位の専攻分野と関係する専攻領域は次の通りです。

学士（文学）：国文学専攻領域、中国文学専攻領域、英米文学専攻領域、独文学専攻領域、仏文学専攻領域

所定の必要単位を修得したうえで、それぞれの専攻領域で求められること、卒業論文執筆の重点項目は次の通りです。

学士（文学）

[国文学専攻領域]

国文学専攻領域では、卒業時に学生が身につけるべき能力として下記のことを重点項目とし、学則に従って修了要件を満たし、卒業論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、学士（文学）の学位を授与する。

1. 国文学および日本語学を中心に、学芸、習俗など広く日本文化の歴史と現在について専門知識を有し、厳密な研究方法を身につけている。
2. 上記1で身につけた知識・方法の上に立ち、自らの問題意識に基づいてテーマを設定し、独力でデータ・資料を収集し、オリジナルな分析・考察を行って課題を解決し、その成果を論理的・説得的に構成して自分のことばで発表できる。
3. 上記2の集大成として、独力で卒業論文を執筆できる。
4. 国文学・日本語学・日本文化を専門的に学び深く理解することを通して、それらと対照して異文化についても広く深く理解する視野をもつとともに、固定観念や偏見にとらわれず国文学・日本語・日本文化をも相対化してとらえることのできる能力を培っている。
5. 大学で獲た知識や研究技法を基礎にして生涯、学修を継続する姿勢を保つとともに、それらの知識・技法を社会に出てから直面する多様な問題・課題を解決するために応用できる能力をもち、自立した責任ある社会人として社会に貢献できる。

また、卒業論文（卒業試験）は文学部共通の項目に加え、「データ・資料を適切に読解・分析している」点も審査項目とする。

[中国文学専攻領域]

中国文学専攻領域は、中国語文化圏への探求を基礎として多文化環境への理解を深め、国際社会への適応力と発信力を備えた有為の人材を育成することを理念とし、「中国現代文学」「中国古典文学」を研究教育の柱として、言語・歴史・哲学・社会・文化などを含めた幅広い領域を対象とする。本専攻領域では、古代から現代にいたる通時的な視野と、各国・各地域にまたがる共時的な視野のもとで、高い専門性を有しつつ複合的に中国語文化圏の諸相を研究できる能力を習得し、所定の課程を修了することで、以下の能力を習得したと認められた学生に対して、学士（文学）の学位を授与する。

1. 日本語・中国語文献を正確に読み解き、理解する能力。
2. 学問・研究の基礎を固め、主体的に学ぶ能力。
3. 自他に対する批判的思考力を伴う論理的な説明能力。
4. 多文化環境に適応する幅広い知識と柔軟な発信能力。

[英米文学専攻領域]

英米文学専攻領域では、卒業時に学生が身につけるべき能力として下記のことを重点項目とし、学則に従って卒業条件を満たした学生についてはこれらの能力を身につけた者と認め、学士（文学）の学位を授与する。

1. 母語を使用して、正確な読解と適切な調査に基づいた論理的な思考を展開し、他者と生産的な議論を行うことができる。
2. 外国語（英語）を使用して、母語に準ずる正確な読解・論理的思考・生産的な議論を行うことができる。
3. 英語という言語それ自体に対する関心・理解を深め、過去から現在に至る英語を使用した文化の特徴・歴史に関する知識を身につけている。
4. 英語を通じて異文化の他者と交流をもち、共通の問題を解決していくための議論や実践に備えた基礎能力を有している。

[独文学専攻領域]

独文学専攻領域では、学士課程修了時に身につけるべき能力として下記のことを重点項目とし、学則に従って卒業要件を満たし、卒業論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、学士（文学）の学位を授与する。

1. 日本語もしくはドイツ語による学修を通じて、ドイツ語圏の文化、歴史、言語についての洞察を得るとともに、異文化一般の深い理解ならびに自文化の積極的発信を行うことができる。
2. 日本語もしくはドイツ語による関連文献を通じて、ドイツ語学・文学研究ならびにドイツ語圏の文化現象全般に関する総合的知識を獲得し、この知識を基盤に当該領域に関する問題を発見・設定し、その解決に至る思考の過程を日本語またはドイツ語で論理的に記述した卒業論文を作成することができる。
3. ドイツ語固有の論理構造およびドイツ語文化圏の歴史的、文化的特性を理解することによって、日本語および日本文化を相対化する視点を獲得し、自文化に関する反省的思考を深め、これを通じて得られた異文化リテラシーを生かし、社会人として国際社会に貢献できる。

[仏文学専攻領域]

仏文学専攻領域では、卒業時に学生が身につけるべき能力として下記のことを重点項目とし、学則に従って卒業条件を満たした学生についてはこれらの能力を身につけた者と認め、学士（文学）の学位を授与する。

1. フランス語によって築かれた文化に関する基礎的教養を身につけている。
2. フランス語によって築かれた文化に関する専門分野において、独自の研究テーマを設定し、必要な資料やデータを収集し、その分析や解釈および考察を通じて独創的な結論を導くことができる。
3. 前記の研究成果を論理的かつ説得的に構成しながら卒業論文を作成することができる。
4. 異文化に対する理解を深めることによって、日本語や日本文化を相対化する視点をもつことができる。